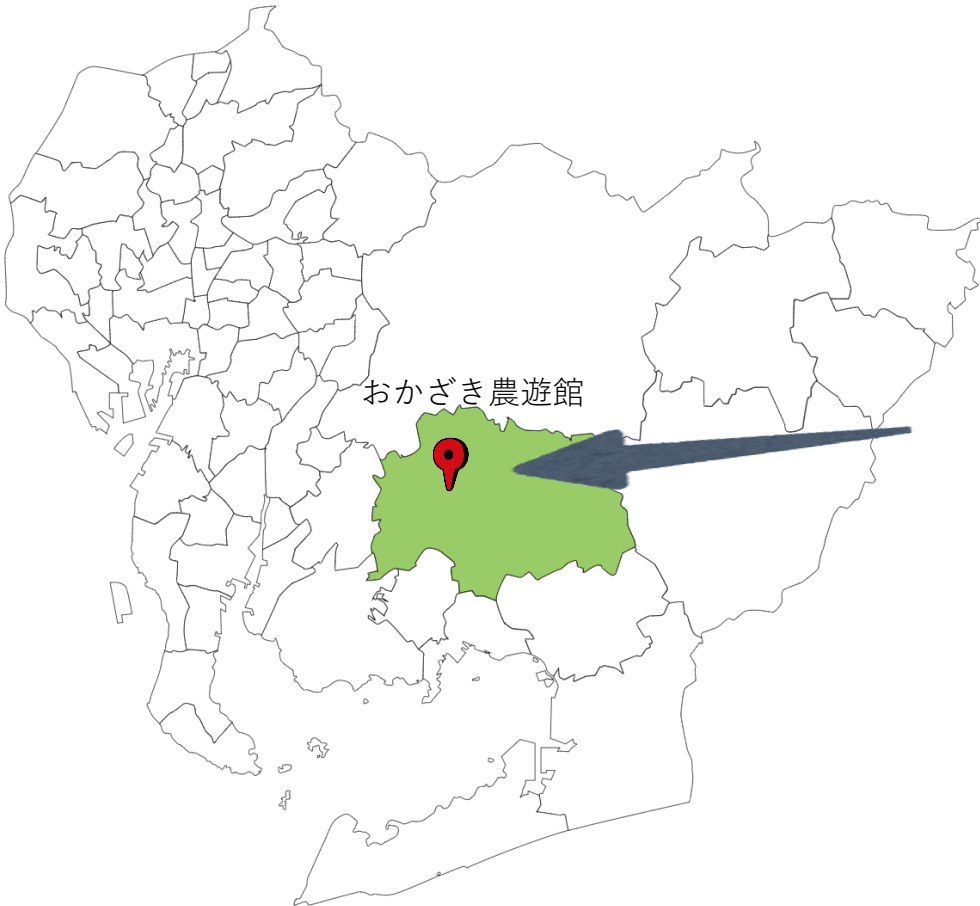


「ふれて」「遊んで」「買い物する」



おかざき農遊館



「おかざき農遊館」の概要
住所：愛知県岡崎市東阿知和町乗越12
URL：https://www.instagram.com/ja_aichimika_wa/

「おかざき農遊館」は生産者と消費者がふれあい、交流の場を提供することを旨とした農林産物展示即売施設です。おかざき農遊館では地元岡崎の農産物や、野菜苗、花、園芸用品等を販売しています。また、JANAではオリジナル商品もあります。

今回、直売所の開設の経緯や取組内容取材しました。



広々とした店内の各種コーナー

農政局…開設の経緯と運営の主体を教えてください。

農遊館…新鮮な地元農産物の展示即売を通じて生産者と消費者が相互にふれあい、交流する場を提供することを目的に、平成8年に開設され、あいち三河農業協同組合が岡崎市の指定管理者として運営しています。ここでは、地産地消を推進し、生産者と消費者の交流により農林業への理解を深め、市民のニーズに即した農林産物の生産を促し、本市農林業の振興と活性化を図ることを目指しています。

農政局…店内がとても広いですね。いくつかのコーナーに分かれています。のでしょうか。

農遊館…農林産物、米、切り花、軽食、催事用スペース、苗物・園芸用品、花・観葉植物展示即売温室、植木展示即売場があります。



農政局…農産物は岡崎市の物が中心でしょうか。

農遊館…「おかざき農遊館産直部会」の会員が生産したものを中心に販売し、時期によって品揃えが少ないうものは市場から仕入れています。生産者自身が値段をつけ、名前が分かるようにして出品するシステムを導入しており、「生産者の顔が見える」販売方法をとっています。

農政局…来場するお客様はどのような方が多いですか。

農遊館…岡崎市内のお客様が多いです。スーパーに来るような感覚で、地元で採れた新鮮でボリューム満点の野菜を求めて来られます。

農遊館では、来場者に安心して買っていたくため、出荷者には生産履歴の記帳や農薬の安全使用の指導、定期的な残留農薬検査の実施などを行っています。

有機JAS商品の取扱いがあります



栽培期間中減農薬のお米あります



花・苗の種類がとにかく豊富

農政局…おかげさき農遊館の一番の特徴はなんでしょうか。
農遊館…新鮮な地元農産物があることはもちろんですが、野菜や花の苗の種類が豊富にあることが当館の最大の特徴です。西三河では昔から苗物や観葉植物の栽培が行われており、当館でも花や苗物の販売に力を入れています。園芸シーズンの本番である春を迎えると、野菜の苗が更に増え、苗物コーナーの半分以上を占めるようになります。
 また、当館には温室での展示即売も行っています。温室の販売コーナーには地元の鉢花、洋ラン、多肉植物やメダカなどを販売しております。
 花に関しては、2月に世界の椿フェアを行いました。種類豊富な椿の展示と即売を行う毎年人気のイベントで、期間中は世界各国のおよそ200種類の椿が並びます。

スタッフ一押し商品！

テレビで紹介され、一時期入手困難になったたま麸、実は岡崎で作っています。熱々のお吸い物に浮かべて、出汁を吸わせると絶品。



農政局…他にもおすすめの商品がありますか。
農遊館…他には、三河産の畜産物を扱う「まるみつ」の畜産加工品、「野本養蜂場」の純粋はちみつ、通常の卵よりビタミンEが多く含まれている「テツマE Mたまご」、愛知県産の「こだわり米コシヒカリ」がおすすめ商品です。

切り花コーナー



世界の椿フェア



園芸コーナー

視て食べて地産地消

農政局…人気商品はありますか。
農遊館…地元農産物を使ったJAのオリジナル商品が人気です。現在販売している中では、特に豆菓子とお茶が人気です。豆菓子はJAあいち三河と老舗菓子屋が連携し共同開発しました。販売開始から1年で5万袋を売り上げたヒット商品です。炒った大豆にフレーバーをコーティングしており、味は9種類あります。パッケージにはJAあいち三河のマスコットキャラクター「みのりくん」が印刷されています。
お茶は岡崎市内の中山間地域で栽培されている栽培期間中無農薬のお茶を使用しています。お茶本来のコクとすっきりしたのど越しが特徴です。
このように、地元の会社とコラボレーションをすることで、地元農産物に付加価値をつけ、地域振興につなげています。

JAあいち三河の
オリジナル商品



大河ドラマ「どうする家康」
に合わせて産地をPR

見る試食会

野菜のゼリー寄せ



食育ソムリエの視食会
おかざき農遊館

食育ソムリエのレシピ紹介

旬の野菜を使ったレシピを提案します。
ご自由にお取りください。



農政局…訪れるお客様に対して行っていることはありますか。
農遊館…当館の職員は全てJAの職員なので、ある程度の農林産物の知識があります。加えて、店頭には食育ソムリエが在籍しており、レシピ提案や「見る視食会」を行っています。「見る視食会」は、食育ソムリエのレシピによる料理をサンプルとして展示し、お客様に「見て」いただくことで新たな調理方法を提案します。他にも、生産者による旬の食材を使った試食会も随時行っています。

SNSを使った情報発信

農政局…新規顧客獲得に向けた取り組みがありますか。
農遊館…当館ではインスタグラムを活用した情報発信に力を入れています。地元の出荷者の高齢化による作付け面積の減少や収穫量の減少など地元課題を抱えている中で、なんとかしたいという思いから、SNSの活用を開始しました。インスタグラムを開設した当初はフォロワーが100人しかいませんでしたが、日々発信することによって現在（訪問時は令和6年3月）では3800人にまで成長しました。
フォロワーを増やしていく中でも反響が良かったのは、プレゼント企画です。この企画は、アカウントのフォローと投稿に「いいね！」をした人の中から抽選で地元農産物や農産物加工品をプレゼントするものです。プレゼントの受け取りは管内JAの4店舗から選ぶことができます。

おかざき農遊館 3月イベントカレンダー						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
						31

※市やイベント等は天候により変更や予告なく中止になる場合がございます。
(3月31日まで閉店時間は午後5時)

プレゼント企画以外にも、イベント情報、農産物の出荷情報、JAからのお知らせなど幅広く発信しています。

農政局…どのようなものをプレゼント商品となっていますか。
農遊館…過去の企画では人気のフルーツサンドやぶどうジュース、JA全農のニッポンエールグミなどをプレゼントしました。プレゼントをきっかけに店舗へ足を運んでいただければと思っています。またフォロワーが増えるたびキャンペーンを企画するかもしれませんので、インスタグラムをフォローして、お見逃しのないようにぜひチェックしてください。



フルーツサンドに使われていたイチゴがJAあいち三河の「愛きらり」だったことがきっかけにプレゼント企画を決定。
地元農産物を知っていただき、リピーター創出のきっかけに。

イベント情報



写真右) 沖縄フェアの様子
写真左) フェア以外の日も沖縄特産
コーナーを設けています



農政局…施設でイベントなどは行っていますか。
農遊館…催事コーナーでイベントを行っています。岡崎市は沖縄県石垣市と親善都市提携を結んでおり、農遊館では毎年7月に沖縄フェアを行っています。フェアでは、エイサーと言われる伝統的な踊りや歌を披露するので、いつもと違った雰囲気味わうことができます。また、沖縄のパイナップルやマンゴー、ちんすこうなどの名産品の販売を行います。連日多くの来場者で賑わいます。また、おかざき農遊館の敷地内にあるほ場を使った農産物の植え方講習や収穫体験、旬の野菜の即売会など、季節ごとに様々なイベントを行っています。

イベント開催情報もインスタグラムにて随時お知らせをしていますので是非チェックしてください。



JA_AICHIMIKAWA



お問い合わせ ▶ 岡崎市 経済振興部 農務課 ☎0564-23-6195

令和5年度イベント開催時のポスター

目指せフォロワー1万人！

農遊食堂

管理栄養士が地産地消・手作りにこだわった日替わり定食やデザートをいただけます！



今回取材に協力いただきました、
太田店長（右）、玉置さん（左）

農政局…地域と連携して取り組んでいることはあります。

農遊館…月に一度、成長段階で曲がりたり傷が入った規格外品の野菜を生産者に持込んでいただき、子ども食堂に提供しています。規格外品といえども品質には問題がないので、地域と連携することによって、地産地消と食品ロスの削減に取り組んでいます。

農政局…現在の課題と今後の展望を教えてください。

農遊館…農業者の高齢化や新規就農者の減少がこの地域でも課題となっています。これは岡崎市だけでなく、今や日本全体の問題となっており、同じ課題を抱えている地域が多くあると思います。これからは、全国で総力を挙げて農業者への教育や指導を行い、新規就農者を増やしていく必要があると考えています。

今後は、農遊館を更に盛り上げ、地元農業者を応援していきたいと考えています。そこで、SNSを活用した情報発信に更に力を入れようと思います。将来的にはSNSフォロワー数でJANAナンバーワンを獲ることを目指していますが、まずはインスタグラムのフォロワー1万人を目指して頑張ります。またLINEアカウントからの発信も始める予定で、更に発信を強化していきます。

農政局…ありがとうございました。